

阪堺電軌で住吉大社へ

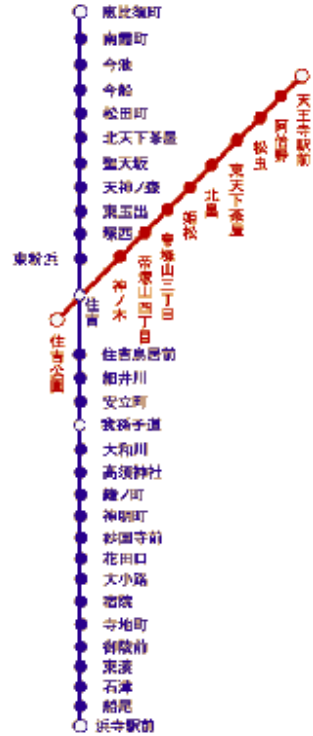
ふちんかん

天王寺といえばちんちん電車で有名な阪堺電軌でしょう、ということで百番オープンまでの時間調整もあって阪堺電軌で住吉大社まで行ってきました。

阪堺電軌は、天王寺駅前から南下して住吉公園までを結ぶ上町線と恵美須町から南下して堺の浜寺駅前までを結ぶ阪堺線の二つの路線がありまして、両路線は住吉で平面クロスしております。どちらも路面併用区間と専用軌道区間があり、交差点の専用信号通過や一般車両との壮絶なバトル、自転車の飛び出しテロ、鬱憤を晴らすかのような専用軌道での爆速走行など見所がいっぱいあります。

運用は上町線の天王寺発は、住吉公園へ向かうものと阪堺線に乗り入れて我孫子道まで行くものの二通り、阪堺線の恵美須町発は基本的には浜寺公園行きとなります。

上町線は一日中、乗客の絶えることがない（途中から乗ると座れないことが多い）のに対し、阪堺線の北端の恵美須町ー住吉や南端の我孫子道ー浜寺公園は空いていることが多い、ていうかガラガラです。特に南端の堺市内部分は堺市が廃止を検討しているらしくかなりヤバイ状況です。また堺市内が廃止になれば、阪堺電軌（と親会社の南海電鉄）としては、ドル箱の天王寺ー住吉ー我孫子道だけで営業したいってのが本音でしょうから、同時に北端部も廃止にするかもしれません。阪堺線に乗るなら今のうちかも。



阪堺電軌は車両に関しても昭和初期のものと平成生まれのものが混在して走っていて、なかなか面白いです。ただ160系といわれる最古参車両は徐々に廃車になっているらしく、路線縮小となれば一気に廃車も考えられます。また暑くなってくるこれからの季節は、エアコンが付いていない160系は出番が少なくなるらしいので、





今回の取材、短い時間で3両もの160系を拝めたのは幸運かもしれません。

住吉は平面クロスというだけでも鉄道ファン垂涎のポイントである上に、路面区間でもあるため、自動車・自転車・歩行者に混じって電車が行き交います。なかなか他では見ることのできないデンジャラスなスポットであります。よって休日には必ず一人や二人、カメラを構えたおっさんを目にすることができます。



さて今回の取材では天王寺駅前から上町線の終点・住吉公園まで乗車しました。

そこから歩いて百歩くらいでしょうか。住吉鳥居前電停と道路を横断すると住吉大社です。



住吉大社は以前の取材で訪れているため詳細は割愛しますが、巫女さんの頭上にあるものがみよーに気になったことと、式年遷宮が近々あるということで、軍曹さんがその巫女さんに質問していたことを書き留めておきましょう。式年遷宮については軍曹さんから解説があり、伊勢神宮のように本殿を移転するのではなく、屋根を葺き替えるだけなのだそうです。詳しい記憶は百番のモルツの泡に消えてしまいました。



頭上のは私もよく分かりませーんとでも言いたげな巫女さん

